

2002年度活動（2002年4月1日～2003年3月31日）

● コレクティブオフィス事業（通年／2000年9月より実施）

非営利の市民活動を始める、あるいは既に活動を始めているがまだ起動に乗らない個人やグループに、拠点となる場所と必要な設備を提供するインキュベーター事業。

2002年度は、スタジオ・カタリスト、空飛ぶ車椅子（～2002/8）、プロジェクト結ぶ（2002/6）、ほたる（～2003/3）、兵庫県マンション管理士会が入居。

● 地域活性化のためのパソコン教室（通年／2000年10月より実施）

コレクティブオフィス入居者と旧葺合地区の住民や商店に働く人々を対象に、パソコンやITを通じてコミュニティづくりを進める。2002年度は、延べ880名が受講。

● 復興住宅・コミュニティ支援研究会事務局業務（通年／2001年4月より実施）

復興支援会議パートIIのメンバーが、コミュニティ支援の研究を行うために立ち上げた研究会の事務局業務。復興支援会議パートIIIより、パートナーフォーラムとして位置づけられている。

第12回会合（2002年4月23日） 11名参加。『阪神高齢者障害者ネットワークの支援活動について』（田中氏、佐伯氏）の報告と、『兵庫県既存団地再生方策検討委員会』（小森星児氏）の報告。

第13回会合（2002年6月25日） 12名参加。『高齢者向け優良賃貸住宅の制度とグループハウス』（池田啓一氏）の報告と、『ニューヨークのコミュニティ支援活動について』（室崎益輝氏）の報告と討議。

第14回会合（2002年7月29日） 30名参加。『災害復興公営住宅団地コミュニティ調査事業について（事業の主旨・目的、調査の内容、調査方法等について）』（小林郁雄氏・越山健治氏）、『コミュニティ茶店「新在家南」の検証』（石東直子氏・黒田裕子氏）の報告と討議。

第15回会合（2002年12月4日） 13名参加。『西宮いしざい団地タウン支援事業について（新しい自治のあり方における実験事業について）』（中村順子氏・植田博士氏）の報告と討議、『復興住宅・コミュニティ支援研究会のこれからについて』の討議。

第16回会合（2003年1月27日） 12名参加。『英米におけるコミュニティ技術支援と大学のコミュニティ・アウトリーチ活動について』（渡辺民代氏）の報告と討議、『コミュニティ茶店・新在家南から見えてきた成果と問題点について』（石東直子氏・黒田裕子氏）の報告と討議。

第17回会合（2003年2月25日） 13名参加。『復興住宅調査(県)について』（越山健治氏・菅磨志保氏）の報告と討議、『コミュニティ支援のあり方について』（室崎益輝氏）の提案と討議。

第18回会合（2003年3月20日） 6名参加。前回に引き続き、『コミュニティ支援のあり方について』の討議。

● 修学旅行受け入れ業務（通年／2001年5月より実施）

名古屋市立日比野中学校修学旅行を長田区へ受け入れ。中学生が震災復興の状況を直に見聞することと、地元の方々が修学旅行を受け入れることによって元気になる。

- ・ 2002年5月21日 生徒245名を受け入れ、17の受け入れプログラムを提供

● 研究者等研修受け入れ事業（2002年10月～）

修学旅行の受け入れ以外に、研究者や自治体職員の研修を受け入れる。

- ・ 2002年10月4日 人と防災未来センター研修（2名を受け入れ）
- ・ 2002年11月15日 人と防災未来センター研修（5名を受け入れ）
- ・ 2002年11月29日 人と防災未来センター研修（5名を受け入れ）
- ・ 2002年12月10日 JICA研修（20名を受け入れ）
- ・ 2003年2月21日 東海大学防災研研修（7名を受け入れ）
- ・ 2003年2月28日 関西ペンクラブ研修（10名を受け入れ）
- ・ 2003年3月5日 小牧商工会議所視察（30名を受け入れ）

● 地域活動推進講座「とことん知ろうまちづくり・2002」（2002年9月～12月）

生活復興県民ネットの助成による公開講座として実施。3地区のまちづくりの事例をまち歩きと地域の活動家に

よる講演により立体的にとらえる。専門家の解説だけでなく地域住民の生の発言を聞き論議する。

第1回 (9月14日)	25名参加	「歩いて知ろう 宮本・吾妻地区」	講師：辻信一氏
第2回 (9月17日)	9名参加	「担い手に聞く 宮本・吾妻地区まちづくり」	講師：門田則秋氏
第3回 (10月26日)	5名参加	「歩いて知ろう 甲南地区」	講師：森栗茂一氏
第4回 (10月29日)	8名参加	「担い手に聞く 甲南地区商業の活性化」	講師：海崎孝一氏
第5回 (12月7日)	7名参加	「歩いて知ろう 灘中央地区」	講師：天川雅晴氏
第6回 (12月9日)	10名参加	「担い手に聞く 灘中央まちづくり」	講師：上山卓氏

● 地域活動推進講座「まちづくりと新しいツーリズム」(2002年9月～2003年1月)

生活復興県民ネットの助成による公開講座として実施。今始まっている新しいツーリズムを学ぶことで、まちづくりの活性化の新しい手法を学ぶ。

第1回 (9月27日)	21名参加	「修学旅行プロジェクトとまちづくり」	講師：田中保三氏
第2回 (10月25日)	28名参加	「シアトルまちづくりとツーリズム」	講師：ハイディ・ブリーズ・ハリス氏
第3回 (11月15日)	12名参加	「被災地をめぐる新しいツーリズムの展開」	講師：森栗茂一氏
第4回 (12月20日)	19名参加	「ヨーロッパ 持続可能な観光」	講師：カロリン・フンク氏
第5回 (1月10日)	12名参加	「オルタナティブ・ツアーの展開」	講師：山田和生氏
第6回 (1月24日)	10名参加	「まちづくりと新しいツーリズム大討論会」	コーディネーター：山田和生氏

● 神戸市とNPO等の協働の基本フレーム構築にかかる調査業務 (2002年4月～2003年3月)

神戸市の委託事業。NPOと神戸市の協働研究会の事務局業務。

- ・ 2002年5月21日 第5回公開フォーラム (38名参加)
- ・ 2002年7月30日 第6回公開フォーラム (54名参加)

受託期間中に、7回の世話人会と5回のNPO部会を開催。

● 生活復興のためのNPO活動支援事業 (2002年6月～2003年3月)

阪神・淡路大震災の被災者の生活復興に資する事業企画案から、優秀と認められた企画を、提案したNPOに委託して実施することにより、被災者の生活復興を支援するとともに、NPOの活動促進等に資することを目的とする事業。神戸まちづくり研究所がいくつかの団体と一緒に応募し実施した。(県委託事業/緊急雇用創出事業)

「被災地コミュニティ応援事業」として3団体で実施。「地域活性化のための吾妻パソコン教室事業」「修学旅行誘致による被災地活性化事業」(神戸まちづくり研究所)、「地域社会に援助のネットワークを構築する事業」(ひょうごセルフヘルプ支援センター)、「500/5000人が参加するコミュニティ・ホームページづくり事業」(新開地まちづくりNPO)の4事業を実施した。新規雇用者4名。

● 兵庫まちづくりプラットフォーム設立事業 (2003年1月～3月)

ひょうごボランティアプラザの行政・NPO協働事業助成を受けて実施。兵庫県下のまちづくり関係者のネットワークを構築するために、第1年次調査事業としてワークショップを行った。

- ・ 2003年3月9日 但馬地区(大屋町)ワークショップ開催(20名参加)
- ・ 2003年3月15日 播磨地区(加西市)ワークショップ(36名参加)

● シアトル関係

- ・ 2002年10月7日 日米コミュニティ・エクスチェンジHeide(ハイディ)さんを約1ヶ月受け入れ
- ・ 2002年10月19日 4都市テレビ会議「草の根NPOの挑戦：シアトル発日本着 まちづくりの思想」
- ・ 2002年10月23日 「シアトルNPOについて神戸市との交流会」(ハイディ・ブリーズ・ハリス氏)
- ・ 2002年10月26日 「シアトルまちづくりについて神戸市との交流会」(ジム・ディアス氏)

● 交流・相談・視察受け入れ業務

- ・ 交流：多摩NPO(6/19)、マヌ都市建築グループ(11/9)、吾妻ふれまち協ボランティア団体交流会(11/12)
- ・ 相談：NPO法人HIVと人権・情報センター、甲子園大学教授、NPO法人神戸いきいき倶楽部等多数
- ・ 視察：名古屋市教育研究所(8/6)、とくしまNPO連絡会議(11/7)、日本システム開発研究所(11/22)、北海道庁(12/10)、横浜市役所(12/11)、NHK大阪放送局(12/12)